

令和8年度（2026年度）熊本県立芦北高等学校 第1学期始業式

校長あいさつ

令和8年（2026年）4月8日（水）草野 貴光

季節が移ろい、桜の花びらは雨に打たれ風に流れてしまいました。桜の別名は、夢見草。夢見心地になる春を象徴しています。これから柔らかく爽やかな若葉の季節。日中の日も長くなり、人々の動きも活発化します。

皆さんは学年が一つ進み、新たな段階を迎えました。高校での1年間の月日は大変重いものです。経験しないと分からないことばかりだから、先生方や支えてくれる方々の助言は素直に聞き入れます。特に3年生は強く意識してください。

皆さんに問い掛けます。1年後はどんな自分になっていますか。さらに、その先は。体の成長は外から見えますが、内面的な心の成長、変化は一目では分かりにくいもの。しかし、言葉遣いやしぐさ、行動、身だしなみなどに現れます。誰かと比較してしまうと、「あの人はできているのに私はできていない」と、変化に気づきづらくなります。視点はあくまでも自分に置きます。もし気付かない時は先生方が教えてくれます。

17歳になる2年生。私自身のことを振り返っても、自分がどんな人間かはっきりせず、上手くいかないことに目を向けて葛藤していました。しかし、部活動では先週より今週の方が力をつけている自分を実感できました。進路希望や将来の自分は決して変えずとも、モヤモヤと考えたり、イライラしたりする日がありました。それでも活力に溢れ、グングン成長できるのが2年生です。

18歳になる3年生。人生において特に大きな意味を持つ1年間。同じ場所で足踏みし、グルグル回り続けることはできません。自分なりの答えを持ちつつ、その答えも柔軟に変えながら行動していくとき。成人年齢となり、選挙権も得ます。社会的な責任を負うことにもなります。その分、大人との会話も噛み合うようになり、頼られる存在になります。自分の変容を楽しめるのが3年生です。

今年度も教育スローガンは「私は挑戦する、夢を実現するために」。

夢や目標を持ち実現するため、少しずつ歩み続けます。半歩先にある身近な目標を目の前に置き、半歩踏み出で自分の姿を重ねます。必ず今より成長します。

成長するコツを三つ紹介します。一つ目、「一つ気を利かせる」「気の利いたことを言えるように意識する」。今の自分よりも段階が進みます。

二つ目、努力をし、その努力が報われるように運、幸運、幸福を引き寄せる行動を

取る。毎日、丁寧に生活します。脱いだ服は畳む、ごみを見つけたら拾う、ありがとうと言う、謙虚な思いをお守りに、心を整えます。

三つ目、「美しい心」を持つ。どんな心を美しいというのは各自で考えてください。考えると「美しい心」になっていきます。

令和2年7月豪雨からやがて6年、熊本地震から10年。夏の猛暑や集中豪雨、突然の落雷などが起こっています。予想外のことが突然起こることを私たちは経験しています。その時どう対応するのか考えておく必要があります。危機管理をして備えます。一緒に課題に気づき、課題を解決、主体的かつ協働的に学んでいきます。

結びに、皆さんはよく挨拶をしてくれると地域の方やお客さんから言われます。これは最高の褒め言葉です。そんな皆さんだから分かっていることですが、「いじめは決して許されるものではありません」。生徒全員が安心できる学校、良い学校、キラキラと楽しい学校生活を送れるように力を尽くしましょう。

令和8年度の高校生活をワクワクして過ごしましょう。